

環 境 経 営 レ ポ ー ト

[2021 年度 2021/4~2022/3]



株式会社 ユウキ工業

2022 年 6 月 30 日

1. 株式会社ユウキ工業の事業概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 ユウキ工業

代表取締役社長 北澤 芳恵

(2) 所在地

〒252-0254 神奈川県相模原市中央区下九沢 1093-1

(3) 対象範囲 : 全社 全組織

金属加工部品の製造及び販売

(4) 環境管理責任者

北沢 隆和

(5) 担当者連絡先

〒252-0254 神奈川県相模原市中央区下九沢 1093-1

連絡担当者: 北沢 隆和

T E L : 042-700-8070 F A X : 042-779-8702

E-mail : info@yuki-k.co.jp

(5) 事業概要 (2022年4月1日現在)

①主な事業: 金属加工部品の製造及び販売

②資本金: 1000万円

③従業員数: 28人

④床面積: 998.27 m²

⑤生産量

	2019年度	2020年度	2021年度
生産量 (トン)	143	168	164



2. 環境経営方針

－株式会社ユウキ工業 環境経営方針－

当社は、金属加工部品の製造業者として、地球環境・地域環境に配慮し、環境保全活動を推進し、次に示す環境経営方針を定める。

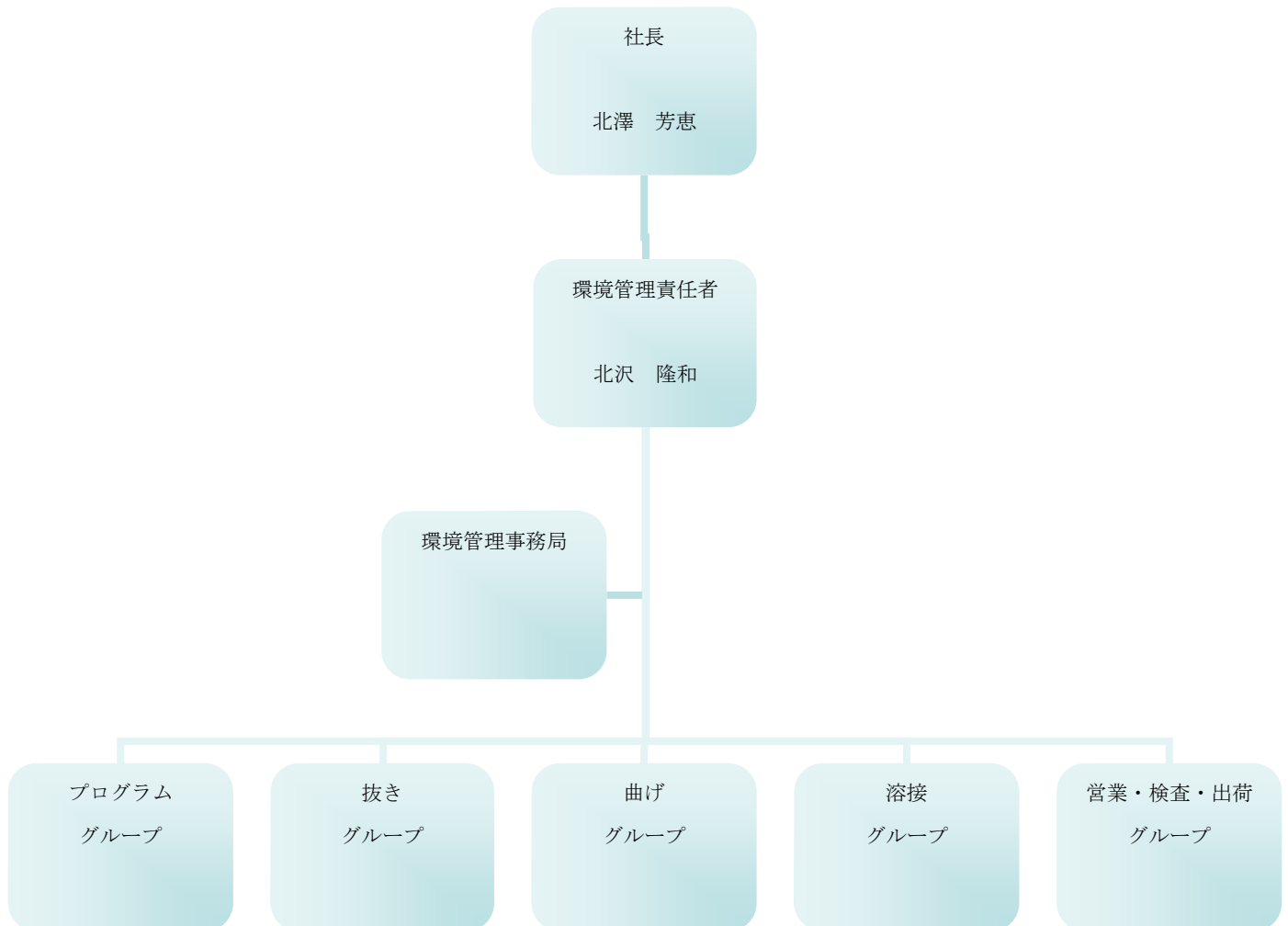
1. 環境目経営標を設定し、主に以下の項目を取組むことによって、環境負荷を改善する。
 - (1) 廃スクラップ金属の削減
 - (2) 不良削減
 - (3) 可燃ゴミの削減
 - (4) 電力使用量の削減
 - (5) ガソリンの使用量削減
2. 関連する環境関連の法規制、条例及びその他の要求事項を順守する。その他の要求事項では、有害物質含有禁止に関する顧客要求に対し、管理を徹底して遵守することを重点項目とする。
3. 環境経営システムを確立し、見直しを行って、その継続的改善及び汚染の予防を行い、維持する。
4. 従業員に教育を行い、全員参加による環境保全活動を実行する。
5. 環境経営方針を含めて記述した環境経営レポートを作成し、利害関係者等からの要求に応じて配布、公表し、社内外への情報提供を行うことによって、積極的な環境コミュニケーションに取り組む。

2020年6月15日改訂
株式会社 ユウキ工業
代表取締役社長 北澤 芳恵



3. 環境経営システム組織体制

株式会社ユウキ工業 環境経営システム組織図
(2022年4月1日現在)



4. 環境負荷実績

項目	2019年度	2020年度	2021年度
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	146,988	153,048	151,488
水使用量 (m ³)	392	405	424
廃棄物等排出量 (t)	53.00	60.60	58.53
総物質投入量 (t)	196	229	226

電力のCO₂排出係数は「0.441kg-CO₂/kwh」(2020年度 東京電力エナジーパートナー(株)調整後係数)を使用。



5、環境経営目標

株式会社ユウキ工業 2021 年度～2023 年度 環境経営目標

大項目	項目名	2021 年度	2022 年度	2023 年度
廃棄物削減	金属スクラップの削減	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を25%以下にする	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を24%以下にする	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を23%以下にする
〃	不良削減	月平均の発生件数を前年度実績より5件減らす。	月平均の発生件数を前年度実績より5件減らす。	月平均の発生件数を前年度実績より5件減らす。
〃	可燃ごみの削減	2020 年度対比1%削減とする	2021 年度対比1%削減とする	2022 年度対比1%削減とする
CO2 削減	ガソリンの使用量の削減	2020 年度対比総量1%削減	2021 年度対比総量1%削減	2022 年度対比総量1%削減
〃	電力使用量の削減	売上高当り2020 年度実績に対し、1%削減	売上高当り2021 年度実績に対し、1%削減	売上高当り2022 年度実績に対し、1%削減
〃	CO2 総排出量削減	2020 年度対比1%削減	2021 年度対比1%削減	2022 年度対比1%削減
節水	水使用量の削減	2020 年度対比現状維持とする	2021 年度対比現状維持とする	2022 年度対比現状維持とする
その他	5S 活動の推進 健康活動	5S 活動の継続実施 ラジオ体操の継続	継続実施	継続実施
化学物質削減	洗浄液の代替品検討	代替品の調査	代替品の調査	代替品の調査

※「化学物質削減」に関し、PRTR 法対象物質については、少量使用している。使用量削減より「代替」を目指しており、数値目標を設定していない。



6. 主要な環境経営計画の取り組み内容

株式会社ユウキ工業 2021年度 環境経営計画の主な実施項目

項目名	主な施策
金属スクラップの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・作業標準書見直し ・作業改善を図る
不良削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不良件数の削減
可燃ごみの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底
ガソリンの使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・効率の良い運行をする
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー・水使用がトラインの実践（エアコンの管理、照明の管理、待機電力の管理等） ・節電の管理 ・作業標準書見直し ・不良削減 ・作業改善を図る ・機械メーカーによる設備メンテナンス及び各担当者による設備メンテナンスによる生産効率向上
CO2 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・電気量・灯油・ガソリン使用量の削減
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー・水・紙の使用がトライン(YE-0802)の実践（台所・トイレの節水、掃除時の節水等）
社内エコ活動・健康活動	<ul style="list-style-type: none"> ・5S 活動の継続実施 ラジオ体操実施
化学物質削減	<ul style="list-style-type: none"> ・代替品の調査



7 環境経営目標及び環境経営計画の取組結果の実績と評価
及び次年度の環境経営目標及び環境経営計画

株式会社ユウキ工業 2021 年度の取組結果と評価

No.	実施項目	評価	目標達成度	実施内容と分析、是正・予防処置
1	廃金属スクラップの削減	×	目標： スクラップ率 25%以下 2021 年度実績： 27.4%	歩留まりの良い加工を心掛けているものの、更に納期が短い状況が続き納期を最優先する事が大半となっている事が未達成要因と思われる。次年度は、加工機の選別にも配慮し納期と歩留まりと双方考慮する。
2	不良削減	○	目標:月発生件数を前年度 実績 5 件減 2021 年度実績： 月平均 13.5 件減	不良削減意識が向上し、目標値よりも大きく削減する事が出来た。次年度も意識付けを継続し、更なる削減へと向けて活動する。
3	可燃ごみの削減	×	目標：2020 年度排出実績 に対して 1%削減 2021 年度実績： 15%増加 2020 年度 666.3kg 2021 年度 766.4kg	材料傷防止保護材の増加や宅配材料等の梱包材も増加している。機密書類をシュレッターに掛けて廃棄する量も増加傾向となっている事が要因と思われる。機密文書の扱いは顧客との信用問題へと繋がる事から削減は困難ではあるが、可能な梱包材は再利用する等検討していきたい。
4	社用車ガソリン使用量の削減	○	目標：2020 年度比総 1%削減 2021 年度実績： 2%削減 2020 年度： 3,377.40 2021 年度： 3,322.63ℓ	遠方への納品は宅配等を利用する事が多くなってきている一方、近隣への短納期対応品納品が増加している中僅かではあるが削減する事が出来た。顧客対応は事業を継続する中では不可欠なものの、基本に戻りエコドライブや、納品スケジュールの見直し等を再度検討していく事で更なる削減を検討する。



5	電力使用量の削減	○	<p>目標：売上高当り 2020 年実績に対し、1%削減</p> <p>2021 年度実績： 1.9%削減</p> <p>2020 年度： 0.593kwh/千円</p> <p>2021 年度： 0.582 kwh/千円</p>	<p>厚い板の加工品が増加し、通常の加工であっても電気量が増加する傾向が続いているが、新設備の省エネ構造の効果により削減したと思われる。</p> <p>次年度も受注量確保を第一としながらも、無駄な電気の消灯等、細かな行動も見直し活動を行う。</p>
6	CO2 排出量の削減	○	<p>目標:2020 年度比 1%削減</p> <p>2021 年度実績： 1%削減</p> <p>2020 年度： 153,048Kg-CO2</p> <p>2021 年度： 151,488Kg-CO2</p>	<p>CO2 排出に関わる、電気、ガスガソリンの使用量全ての送料が僅かではあるが削減した。</p> <p>2 月の大型機械入れ替えに伴い次年度は更に電気量の増加が予測されるが、この結果を元に個々が出来る事から排出量削減行動へと意識する。</p>
7	水使用量の削減	×	<p>目標：2020 年度対比 現状維持(総量)</p> <p>2021 年度実績： 5%増加</p> <p>2020 年度：405 m³</p> <p>2021 年度：424 m³</p>	<p>コロナ禍になり、感染対策のため手洗いの徹底により、生活排水は増加している。</p> <p>又、製品に応じた洗浄作業の量で使用量は大きく変化するものと思われる。</p> <p>2021 年度の結果は前年よりも洗浄作業が増加した結果と思われるが作業時の節水を心掛け、次年度は削減へと繋げて活動する。</p>
8	社内エコ活動 健康活動	○	<p>5 S 活動の推進</p> <p>健康活動の推進</p>	<p>計画的に実施出来た。</p>
9	化学物質削減	△	<p>洗浄液の代替品を検討</p>	<p>調査はしているものの、同等の代替品は見つかっていない。</p>



8. 次年度の環境経営目標

大項目	項目名	2022 年度	2023 年度	2024 年度
廃棄物削減	金属スクラップの削減	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を25%以下にする	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を24%以下にする	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を23%以下にする
〃	不良削減	月平均の発生件数を前年度実績より5件減らす。	月平均の発生件数を前年度実績より5件減らす。	月平均の発生件数を前年度実績より5件減らす。
〃	可燃ごみの削減	2021 年度対比1%削減とする	2022 年度対比1%削減とする	2023 年度対比1%削減とする
CO2 削減	ガソリンの使用量の削減	2021 年度対比総量1%削減	2022 年度対比総量1%削減	2023 年度対比総量1%削減
〃	電力使用量の削減	売上高当り2021 年度実績に対し、1%削減	売上高当り2022 年度実績に対し、1%削減	売上高当り2023 年度実績に対し、1%削減
〃	CO2 総排出量削減	2021 年度対比1%削減	2022 年度対比1%削減	2023 年度対比1%削減
節水	水使用量の削減	2021 年度対比現状維持とする	2022 年度対比現状維持とする	2023 年度対比現状維持とする
その他	5S 活動の推進 健康経営	5S 活動の継続実施 ラジオ体操の継続	継続実施	継続実施
化学物質削減	洗浄液の代替品検討	代替品の調査	代替品の調査	代替品の調査



9. 環境関連法規への違反

(1) 該当環境関連法規と違反状況, 及び訴訟等の有無

No.	法規制等の名称	評価	違反内容
1	下水道法及び 相模原市下水道条例	○	なし
2	廃棄物処理法	○	なし
3	相模原市廃棄物の減量化、資源 化及び適正処理等の推進に関 する条例	○	なし
4	騒音規制法 及び神奈川県生活環境の保全 等に関する条例	○	なし
5	振動規制法 及び神奈川県生活環境の保全 等に関する条例	○	なし
6	家電リサイクル法	○	なし
7	自動車リサイクル法	○	なし
8	消防法 及び 相模原市火災予防条例	○	なし
9	相模原市開発事業基準条例	○	なし
10	神奈川県生活環境の保全等に 関する条例	○	なし
11	高圧ガス保安法	○	なし
12	RoHS 指令	○	なし
13	グリーン調達基準	○	なし
14	フロン排出抑制法	○	なし

上記の通り環境関連法規への違法はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。又、訴訟等もありません。



10. 代表者による全体評価と見直しの結果(2022年6月13日)

(1) 環境経営方針

環境経営方針は継続する。

(2) 環境経営目標及び計画

金属スクラップの目標値を変更したが、未達成の結果となってしまった。受注内容や短納期対応の結果という事は十分理解はしているが、更に加工方法の見直しや製品の流し方を工夫して欲しい。水使用量の削減も未達となった。コロナ禍に依る手洗い等やむを得ない増加は理解しているがこちらも各々の意識付けを求める。

(3) 社会・取引先・法律等への対応

法規制については年間を通じて遵守できた。新たな法規制や変更点があれば情報を入手し、対応できる体制を維持する。

(4) 実施体制及びシステムのその他の要素

今年度は事務局メンバーの入れ替えが無く活動を行ったが、次年度は新たな意見を求める為入れ替えを実施する。

以上

